目　次

巻頭言　法教育と私のかかわり――関弁連シンポジウムからのスタート
古井明男　1

第１編　論　考

〔研究論文〕　犯罪被害者に対する理解を深めるための教育ゲーム：開発と実践
荒川　歩，白岩祐子，唐沢かおり　5

学校生活の問題解決を図る法教育
――小学生の発達の段階に即した特別活動による実践
今村信哉　17

役割体験学習論に基づく法教育
――実践的法教育の理論的枠組　井門正美　25

裁判員教育の検討　飯　考行，平野　潔，宮崎秀一　33

労働法教育の現状と課題　鈴木隆弘　41

〔実践報告〕　模擬裁判実施による生徒の変化　藤井　剛　49

法教育実践における専門家と教師の連携の在り方
――岡山における法教育実践例から考える　矢吹香月　57

高等学校における法教育カリキュラムについて
――東京都高等学校法教育研究会の活動を通じて　太田正行　67

〔研究ノート〕　ルールから法へ
――私的自治の視点から“身近なルール”をとらえる
吉田浩幸　77

教員養成課程における法教育の担い手養成にあたって
――教科専門教育担当教員の視点から　上田理恵子　87

第２編　大会記録

〔分 科 会〕 各分科会の総括　第１分科会　97
第２分科会　99
第３分科会　101

〔基調講演〕 正義とケアへの教育
――たえずロールズとノディングズを顧みつつ　川本隆史　103

〔パネルディスカッション〕 発達段階と法教育　113
司　　会：綱森史泰　橋本康弘
問 題 提 起：長谷川真里
パネリスト：窪　直樹　中原朋生　古家正暢

第３編　学会通信

法教育関連ニュース　137
書評・図書紹介　149
法と教育学会規約　152
「法と教育」編集規程　154
「法と教育」投稿規程　154